I·O DATA

はじめにお読みください

CD-RW 取扱説明書

CDRW-iU24J

株式会社 アイ・オー・データ機器

100864-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i-CONNECTおよびi-CONNECTロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- JustLinkは、株式会社リコーの商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず本書で、取り付け/取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因になります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。



厳守

AC アダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●保温、保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

《使用時/保管時の制限》

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

《使用時のみの制限》

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

禁止

本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

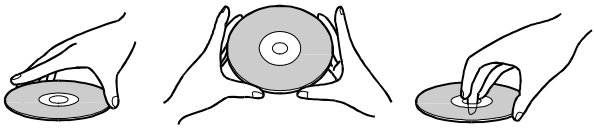
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

厳守

ディスクの取り扱いについては以下をお守りください。

- ●ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- ●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ●ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



- ●ディスクに異物（CD-R ディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

使用上のご注意

●使用する際の注意

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。

■パソコンに本製品をつなぐには以下の2通りありますが、**両方を同時につなげないでください。**故障の原因になります。

・添付のUSBケーブルでつなぐ方法
（ドライブ背面のUSBコネクタ）
・別売のi･CONNECT対応オプションでつなぐ方法
（ドライブ背面のi･CONNECT）

■電源連動機能により、ドライブの電源スイッチをONにした時点ではドライブの電源ランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯します。また、電源連動機能を切ることはできません。
別売のi･CONNECT対応オプションでつないだ場合は、電源連動機能は働きません。電源連動機能については、18ページのコラムをご覧ください。

●本製品添付のCD-R/RWライティングソフトウェアについて

■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のCD-R/RWライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のCD-R/RWライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

■書き込みに失敗したCD-Rディスクの保証は致しておりません。
本製品添付のCD-Rディスクでお試しの上、ご使用ください。

■CD-RWディスクの消去（初期化）は書き込みを行ったCD-R/RWライティングソフトウェアを使用してください。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品は、USB接続のCD-RWドライブです。
本製品をお使いになれば、音楽CDやデータCDなどのオリジナルCDが作成できます。
JustLink機能搭載のため、音楽CDの作成中やCD-ROMのバックアップ作業中のバッファアンダーラン発生によるエラーを回避しますので、ディスクが無駄になりません。



【CD-R,CD-RW】
CD-Rとは、一度だけ書き込みができるCDです。
CD-RWとは、書き込んだデータを消去し、再度書き込みができるCDです。

【USB】
パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。以下の2つのバージョンがあります。

【転送速度】
USB 1.1： 12Mbps（理論値）
USB 2.0：480Mbps（理論値）

USB 2.0では、既存のUSB 1.1機器をそのまま接続できます。

【JustLink（ジャストリンク）】 JustLink™

株式会社リコーが独自に開発した技術です。書き込み時のバッファアンダーランの発生によるエラーを回避する技術です。データ転送が一時的に途切れても、そのデータの終止点とデータ書き込み開始点をつなぎ目なく記録可能にします。

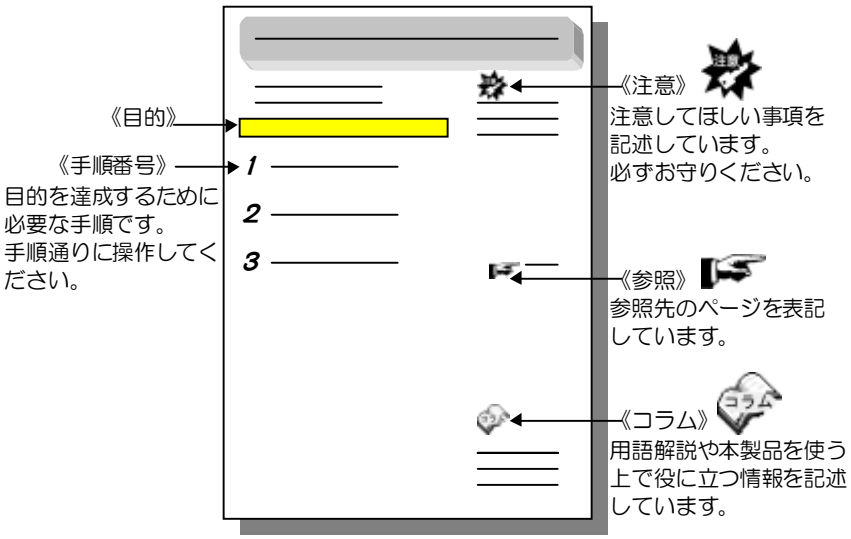
【バッファアンダーランエラー】
書き込み中に、他のアプリケーションを起動したり、読み込みエラーなどによりデータ転送が途切れ、書き込みが失敗する現象です。

● 呼び方

本製品	CD-RWドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	CD-Rディスク、CD-RWディスク、CD-ROMディスクの総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System、Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me/98およびWindows 2000の総称

● 本書の読み方

ページの構成は以下のようになります。



もくじ

必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vii
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ix
CD-RWドライブを使うまで ・・・・・・・・・・・・・・ xi

**使う前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

付録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

インストールしたドライバの削除 ・・・・・・・・・・・・３２
困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
i･CONNECTについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４６

B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP ・・・・ ４６
CD-RWドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・ ４８
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９

コラム

コラムのもくじ

CD-R, CD-RW ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

CD-RWドライブを使うまで

CD-RWドライブが使えるようになるまでの手順と使用上のご注意を説明します。

以下の流れにしたがって、CD-RWドライブを使う環境をつくりましょう。
“☺”を読めば本製品を使うことができます。

使う前に

はじめにすること
内容物の確認
各部の機能の確認
動作環境の確認

☞ 1ページ

▼

☺ **使う準備をする**

CD-RWドライブを使えるようにする
1．インストール ※
2．つなぐ
3．確認
4．基本操作をおぼえる

☞ 7ページ

▼

☺ **使ってみよう**

用途に応じてソフトウェアをインストールする
・B's Recorder GOLD
・B's CLiP

☞ 25ページ

※Windows XPでお使いの場合は、【1．インストール】は必要ありません。
【2．つなぐ】からお読みください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物リストです。

2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。

4ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。

5ページ

箱の中の確認

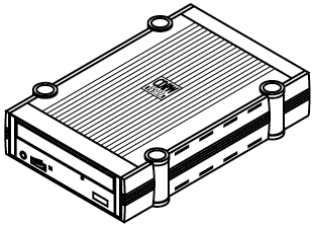
ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

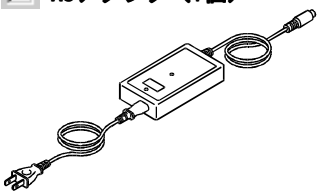
・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

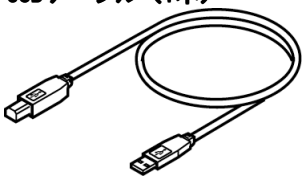
□ **CD-RWドライブ（1台）**



□ **ACアダプタ（1個）**



□ **USBケーブル（1本）**



□ **CD-Rディスク**
（1枚：80分タイプ）



●添付ソフトウェア

□ **オリジナルCD作成キット**
（CD-ROM：1枚）



※詳しくは、26ページをご覧ください。

▼内容

- **USB 2.0CCサポートソフト**
（本背品を使用するためのドライバ）
- **B's Recorder GOLD for Windows**
（CD-R/RWライティングソフト）
- **B's CLiP**
（CD-R/RWパケットライトソフト）

●その他

- [x] CD-RW取扱説明書（本書）
- [ ] クイックリファレンス「音楽CDを作ろう」（1冊）
- [ ] ハードウェア保証書（1枚）
- [ ] ユーザー登録カード（1枚）
- [ ] ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

※「ハードウェア保証書」と「ユーザー登録カード」に貼ってください。

- [ ] 著作権について（1枚）
- [ ] B's Recorder GOLD ＋ B's CLiP クイックガイド（1冊）
- [ ] B's Recorder GOLD「ユーザー登録/ハガキ」※（1枚）

※「B's Recorder GOLD + B's CLiP」のシリアル番号が印字されています。
本製品のシリアルNo.とは異なります。

注意

「B's Recorder GOLD ユーザー登録ハガキ」のお客様控えは大切に保管してください。
「B's Recorder GOLD + B's CLiP」をインストールするときに必要なシリアル番号が印字されています。

コラム

ドライバ
パソコンの周辺機器を制御するソフトウェアのことです。本製品では、「オリジナルCD作成キット」CD-ROM内にあります。

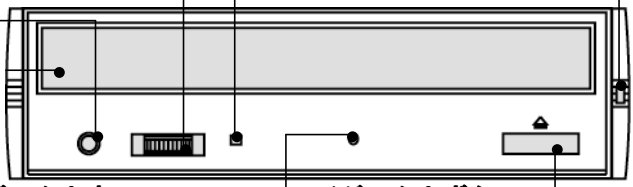
【「パケットライト」（PACKET WRITE）】
データを小さなデータのかたまりに分割して書き込む方式です。
ファイルを単純にコピーするように操作できますので、データを手軽に保存できます。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記述されています。
登録してから、次ページへ進みましょう！

各部のなまえ

各部の名称および機能の確認を行います。

●CD-RWドライブ前面



ヘッドホンボリューム
ヘッドホン端子の音量を調節します。右へ回すと音量が上がります。

ヘッドホン端子
ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを接続します。

Powerランプ
点灯：電源ON

BUSYランプ
読み込み中や書き込み中に点灯/点滅します。

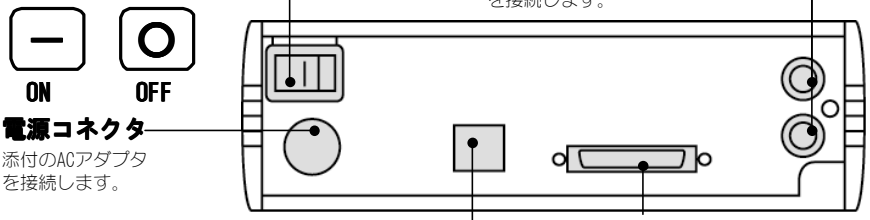
トレイ

緊急イジェクトホール
ディスクが取り出せなくなった場合に使用します。（39ページ参照）

イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。

注意 BUSYランプの点灯中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●CD-RWドライブ背面



電源スイッチ
電源をON/OFFにします。

ON　OFF

電源コネクタ
添付のACアダプタを接続します。

LINE OUT端子（アナログ）
ステレオアンプなどのオーディオ機器を接続します。

USBコネクタ(TypeB)
添付のUSBケーブルを接続します。

i・CONNECT(コネクタ)
別売のi・CONNECTインターフェイスを接続できます。（45ページ参照）

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

● 対応機種・OS

搭載CPU Pentium 166MHz以上（Pentium Ⅱ 266MHz以上推奨）で、USB 2.0またはUSB 1.1ポートを装備した以下の機種です。
（弊社製USB 2.0またはUSB 1.1インターフェイス製品を搭載した機種も含む。USB 1.1ポートに接続した場合は、USB 1.1機器として動作します。）
また、インストール時に別途CD-ROMドライブが必要となります。

対応機種	対応OS（日本語版に限る）
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン ※1※2※3** 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。	Windows XP※4 Windows Me※5 Windows 98 Second Edition※5 Windows 98(ServicePack 1以降) ※5※6 Windows 2000※5※7

※1 IBM製 Aptiva E21,31,17,27,47シリーズは除きます。
※2 USB 1.1環境では、以下の機種を除きます。
東芝製 Dynabook SS PORTEGE6000、Satellite2520シリーズ、
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3を除く。
※3 COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590をUSB 1.1環境で使う場合、パソコンBIOSのアップデートが必要です。詳しくはコンパック プレサリオ サポートセンターまでお問い合わせください。
※4 USB 1.1機器としての対応となります。USB 2.0機器としてはWindows Updateにて対応予定です。詳しくは、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
※5 本製品のUSB 2.0での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイス製品において確認を行っております。動作確認情報は、各インターフェイス製品メーカーにお問い合わせください。
※6 Windows Updateにて「Windows 98 System Update」を行うか、Service Pack 1によるUpdateを行ってください。
※7 弊社製USB 2.0インターフェイスをお使いの場合は、サポートソフトVer1.10以降をお使いください。

● ハードディスク

空き容量100Mバイト以上
（イメージファイル作成時に最高約800Mバイトの空き容量が必要です。）

● メモリ

64Mバイト以上

● 対応ディスク

CD-R、CD-RW、CD-ROM

注意

CD-R/RWディスクへの書き込みは、12cmディスクのみ対応しております。

●推奨CD-R/RWディスクメーカー

推奨CD-Rディスク	≪書き込み速度：4倍～24倍≫ 三菱化学、リコー、太陽誘電、三井化学 ≪書き込み速度：4倍～16倍≫ TDK、日立マクセル、富士写真フィルム、コダック
推奨CD-RWディスク	リコー、三菱化学

注意

・推奨以外のディスクを使用した場合は、正常に書き込みができないことがあります。
・本製品は80分（700Mバイト）ディスクにも対応しております。

コラム

本製品のUSB 1.1での読み込み/書き込み速度について

USB 1.1の環境では仕様により、CD-Rは8倍速モード、CD-RWは4倍速モードに設定すると最も高速に書き込みできます。また、読み込み速度は最大6倍速となります。（本書に表記している書き込み/読み込み速度は、本製品のCD-RWドライブが持つ最大性能です。）
USB OHCI規格準拠の環境では、CD-R、CD-RWともに4倍速以下で書き込みを行ってください。

《お使いの規格の調べ方（USB OHCI規格かUSB UHCI規格か）》
[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]のユニバーサルシリアルバスコントローラの内容をご覧ください。

USB 2.0の環境が無い場合

別売の弊社製USB 2.0インターフェイス製品を使用すると、USB 2.0動作が可能となり、CD-RWドライブの最大性能で書き込み/読み込みができます。
また、別売の弊社製i・CONNECTオプション「1394-iCN」または「CI-iCN」(CardBusモード)を使用すれば、CD-RWドライブの最大性能で書き込み/読み込みができます。最新情報は、弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）でご確認ください。

使う準備をする

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要になります。手順にしたがって準備しましょう。

1．インストール

CD-RWドライブをお使いのパソコンで使えるようにするための作業をします。

8ページ

▼

2．つなぐ

CD-RWドライブをパソコンにつなぎます。

10ページ

▼

3．確認

CD-RWドライブが正常に使用できることを確認してください。

12ページ

▼

4．基本操作をおぼえる

ディスクの入れ方/出し方、CD-RWドライブのつなぎ方/外し方をおぼえてください。

18ページ

注意

Windows XPでお使いの場合は…

インストールする必要はありません。【2．つなぐ】からお読みください。

1．インストール

Windows Me/98、Windows 2000で、はじめて本製品を使用するときは、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール終了後、本製品をパソコンに接続できます。

インストールするには、本製品以外のCD-ROMドライブが必要です。本製品以外のCD-ROMドライブが無い場合は、弊社ホームページから「USB 2.0CCサポートソフト」をダウンロードしてください。☞ 48ページ

禁止

ここではまだ本製品をパソコンにつなげないでください。

1 すべてのUSB機器（マウス、キーボードを除く）を取り外します。

2 Windowsを起動します。

3 「オリジナルCD作成キット」CD-ROMを挿入します。

本製品以外のCD-ROMドライブに挿入してください。

4 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0CCサポートソフト]ボタンをクリックします。

自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」をダブルクリックしてください。

クリック



注意

Windows XPでお使いの場合インストールの必要はありません。【2.つなぐ】へお進みください。

☞10ページ

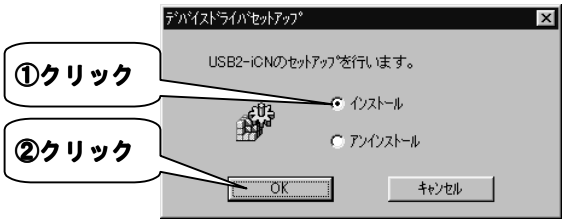
（USB 2.0機器としてはWindows Updateにて対応予定です。詳しくは、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。）

注意

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。起動しているプログラムをすべて終了してください。

5 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

→このあと自動でインストールされます。



注意

下のような画面が表示されたときは、【困った時には】をご覧ください。

35ページ



6 **[OK]ボタンをクリックします。**

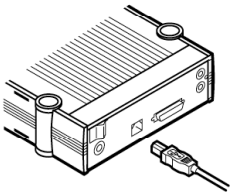


次ページへお進みください。

2．つなぐ

CD-RWドライブをパソコンに接続します。

1 USBケーブルをCD-RWドライブに接続します。



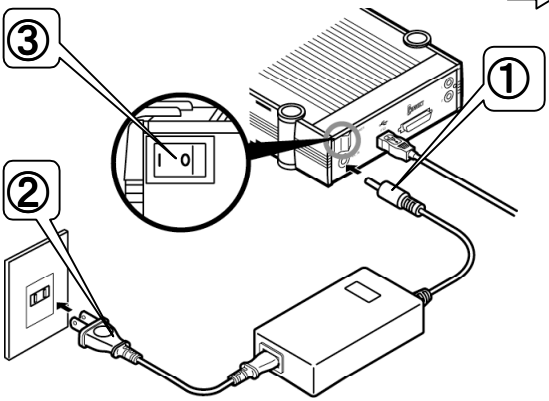
注意

「Windows Me/98、Windows 2000でお使いの場合」
インストールは済みましたか？つなぐ前に、インストールをしてください。

8ページ

2 CD-RWドライブの電源を入れます。

①CD-RWドライブにACアダプタを接続します。
②ACアダプタを電源コンセントに接続します。
③本製品の電源をON（-）にします。



注意

電源連動機能により、この時点でCD-RWドライブの電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯します。
電源連動機能については、18ページのコラムをご覧ください。

注意

本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

3 USBケーブルをパソコン側のUSBポートに接続します。

→「新しいハードウェア」画面が表示され、しばらくすると画面は消えます。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない

→[キャンセル]ボタンをクリックし、
USBケーブルをパソコンから取り外します。
その後、再度インストールしてください。

以上で接続は終了です。次ページへお進みください。



本製品で音楽CDを聞く方法

・デジタルオーディオ機能を使用します。
→デジタル再生

詳しくは、40ページのコラムをご覧ください。

・ヘッドホンやスピーカーなどを接続します。
→アナログ再生

環境に応じて接続してください。

① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続します。

② 本製品背面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

③ パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

3. 確認

本製品が正常に使えるかを確認します。
確認方法はOSにより異なります。お使いのOSにあったページのみご覧ください。
（USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、確認方法が異なります。詳しくはUSB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。）

Windows XPで確認 本ページ

Windows Me/98で確認 次ページ

Windows 2000で確認 15ページ

Windows XPで確認

本製品のアイコンを確認します。

①[スタート]から［マイコンピュータ］を開きます。

②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



確認後、18ページへお進みください。

注意

アイコンが表示されない！

【困った時には】をご覧ください。

37ページ

Windows Me/98で確認

1 **「システムのプロパティ」を開きます。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

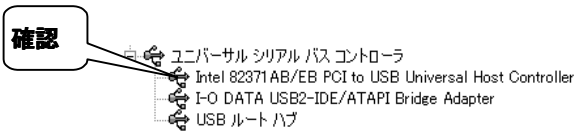
3 **［種類別に表示］を選択します。**



4 **USBコントローラの名前を確認します。**

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。

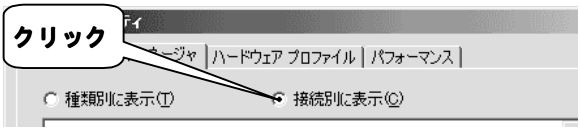


注意

USBコントローラに［!］が付いている

→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 **［接続別に表示］を選択します。**

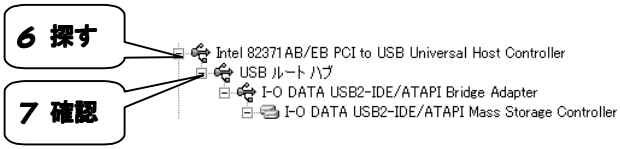


6 **USBコントローラの名前を探します。**

手順**4**で確認したUSBコントローラを探します。

通常、USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

7 USBコントローラの下を確認します。



8 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある×をクリックします。

9 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



追加されたアイコン

（ドライブ名は環境により異なります。）

確認後、18ページへお進みください。

注意

■［USBルートハブ］に［!］が付いている

→パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

■［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］、または［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］に［!］が付いている

→もう一度【インストール】(8ページ)の手順を行ってください。

■［USBルートハブ］の下に何もない

→【つなぐ】(10ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

注意

アイコンが表示されない！

【困った時には】をご覧ください。

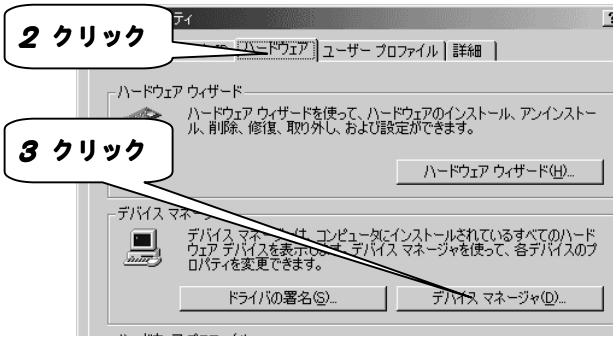
37ページ

Windows 2000で確認

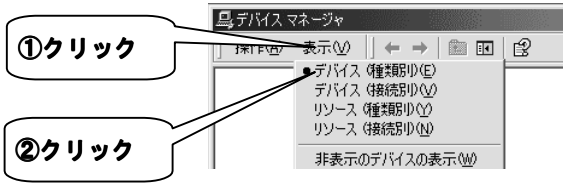
1 「システムのプロパティ」を開きます。
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



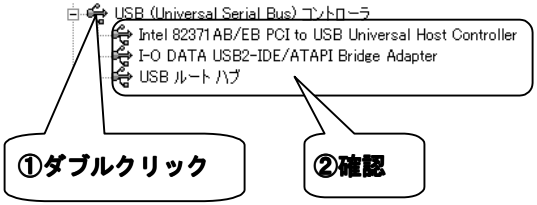
4 ［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。



5 USBコントローラの名前を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus) コントローラ］をダブルクリックします。

②その下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

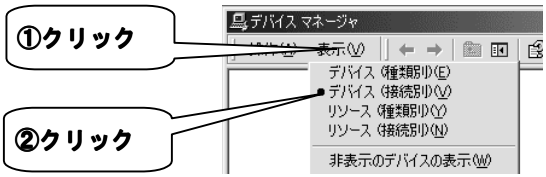


通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。

USBコントローラに［!］が付いている

→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。

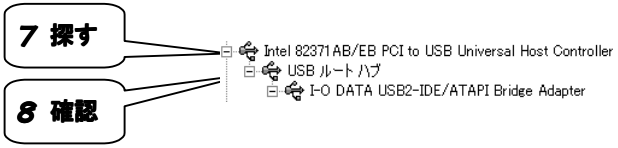


7 USBコントローラの名前を探します。

手順**5**で確認したUSBコントローラを探します。

通常USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。



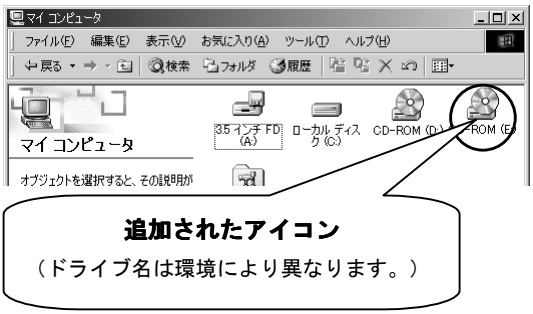
9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある×をクリックします。

10 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



追加されたアイコン

（ドライブ名は環境により異なります。）

確認後、次ページへお進みください。

注意

■［USBルートハブ］に［!］が付いている

→パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

■［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］に［!］が付いている

→もう一度【インストール】(8ページ)の手順を行ってください。

■［USBルートハブ］の下に何もない

→【つなぐ】(10ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

注意

アイコンが表示されない！

【困った時には】をご覧ください。

37ページ

4．基本操作をおぼえる

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

つなぎ方

パソコンの電源を入れていても切っていても、CD-RWドライブを接続できます。

1　CD-RWドライブの電源を入れます。

①CD-RWドライブにACアダプタを接続します。

②ACアダプタを電源コンセントに接続します。

③本製品の電源をON（-）にします。

2　CD-RWドライブをUSBポートにつなぎます。

外し方

CD-RWドライブの外し方には、「パソコンの電源を切って外す」方法と「パソコンの電源を切らずに外す」方法の2通りあります。

●パソコンの電源を切って外す

1　CD-RWドライブからディスクを取り出します。

2　Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3　CD-RWドライブをUSBポートから取り外します。

4　CD-RWドライブの電源を切ります。

注意

・本製品に添付のUSBケーブルと、別売のi・CONNECT対応オプションを同時につなげないでください。故障の原因になります。

・≪Windows 2000の場合≫
USBケーブルを抜き、再度つなぐ場合は、Windows 2000を再起動してからつないでください。Windows 2000起動後に抜き差ししないでください。

コラム

【電源連動機能】

パソコンの電源のON/OFFに連動して、CD-RWドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のUSBケーブルを使用し、CD-RWドライブの電源がON（-）の状態の時のみ有効です。（i・CONNECT対応オプションを使用する際は、電源連動機能は使用できません。）

この機能により、パソコンの電源を切れば同時に、CD-RWドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、CD-RWドライブの電源も入るので手間が省けます。

●パソコンの電源を切らずに外す

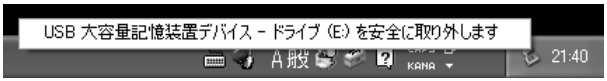
USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、取り外し方法が異なります。詳しくはUSB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

Windows XPの場合

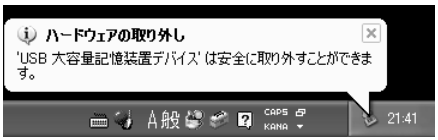
1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された［USB大容量 ・・・・］をクリックします。



3 ［ハードウェアの取り外し］を確認します。



4 CD-RWドライブをUSBポートから取り外します。

5 CD-RWドライブの電源を切ります。

注意

この終了手順を行わずにUSBケーブルをUSBポートから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

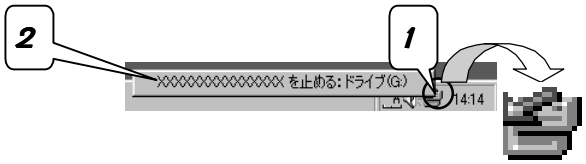
→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

Windows Me/98の場合

1 **タスクトレイのアンプラグアイコンをクリックします。**

2 **表示された［・・・・・を止める］をクリックします。**
（“XXX…”はドライブ名です。）



3 **[OK]ボタンをクリックします。**



4 **CD-RWドライブをUSBポートから取り外します。**

5 **CD-RWドライブの電源を切ります。**

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

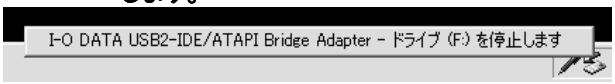
※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

Windows 2000の場合

1 **タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。**



2 **表示された［I-O DATA ・・・・］をクリックします。**



3 **［OK］ボタンをクリックします。**



4 **CD-RWドライブをUSBポートから取り外します。**

5 **CD-RWドライブの電源を切ります。**

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

ディスクを入れる/出す

ディスクの入れ方/出し方をご確認ください。

注意

・ディスクの出し入れを行うときは、CD-RWドライブの電源をONにしてください。
・ディスクに異物が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。
・ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
・トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。CD-RWドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
・12cmディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。
・縦置き時、12cmディスク以外使用できません。
・CD-RWドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）

1 パソコンの電源を入れます。

CD-RWドライブの電源ランプが点灯していることをご確認ください。

注意

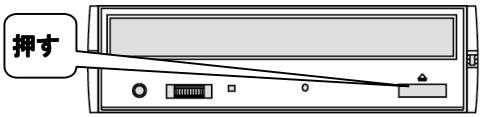
CD-RWドライブの電源ランプが点灯しない

対処①：接続を確認してください。【2.つなぐ】
10ページ

対処②：CD-RWドライブの電源がONになっていることをご確認ください。

2 前面のイジェクトボタンを押します。

自動的にトレイが出てきます。



注意

トレイが出てこない！

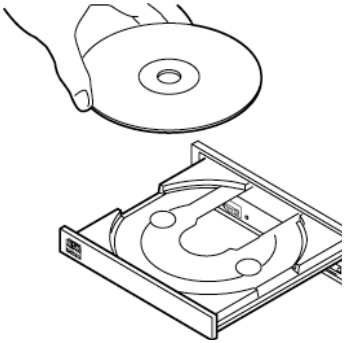
⇒【困った時には】をご覧ください。
39ページ

3 **≪ディスクを入れる≫**

ディスクのラベル面（イラスト面）を上にして、トレイの上にCDを静かに置いてください。

≪ディスクを出す≫

記録面に触れないように、取り出してください。



4 **イジェクトボタンを押すかトレイをかるく押します。**

自動的にトレイが閉まります。

注意

トレイはすみやかにいれてください。
トレイがでた状態だと内部にゴミがはいり、リード/ライトエラーまたは、故障の原因となる恐れがあります。

MEMO

使ってみよう

添付の「オリジナルCD作成キット」CD-ROMから目的に合わせてソフトを選び、インストールしましょう。
ここでは、添付ソフトの内容と注意事項を説明しています。
操作方法など、詳しくは各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMの内容　添付CD-ROMの内容を説明します。
26ページ

CD-ROMの内容

●「オリジナルCD作成キット」CD-ROMの内容

CD-RWドライブに「オリジナルCD作成キット」CD-ROMを入れると自動的に以下の画面が表示されます。

（自動で表示されない場合は、CD-ROMの “Autorun”を起動してください。）



ソフト名称	目的
B's Recorder GOLD	音楽CDを作ったり、CD-ROMを複製したい場合にご使用ください。 次ページをご覧ください。
B's CLiP	[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]上から、フロッピーディスクのように、ファイルを書き込みたい場合にご使用ください。 次ページをご覧ください。
Adobe Acrobat	オンラインマニュアルを読む時に使用します。 画面上のボタンをクリックし、画面の指示にしたがってインストールしてください。

B's Recorder GOLD　B's CLiP

注意

《B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiPを使用する際のご注意》

ここでは、B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiPの使用方法については記述しておりません。使用方法については、別冊の「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiPクイックガイド」やCD-ROM内のオンラインマニュアルをご覧ください。（オンラインマニュアルはPDF形式になっています。）

●B's Recorder GOLDのオンラインマニュアル
添付CD-ROMの「Gold」フォルダ→「DOC」フォルダ内をご確認ください。ファイルは以下の4種類あります。

1)Manual1.pdf：ユーザーズマニュアルです。
2)Manual2.pdf：ユーザーズマニュアルに記載できなかった新機能や、実際と異なる内容の説明をしていますので、必ず別冊のユーザーズマニュアルより先にご覧ください。
3)GOLDxxx.pdf：ドライブ別制限事項について記載しています。
4)Guide.pdf　：別冊の「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP クイックガイド」と同じ内容です。

※バージョンの違いによりファイル名の一部が異なる場合があります。

●B's CLiPのオンラインマニュアル
添付CD-ROMの「Clip」フォルダ→「DOC」フォルダ内の「Manual.pdf」をご覧ください。

『B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP 』に関するお問い合わせは…

(株)ビー・エイチ・エーまでお問い合わせください。
46ページをご覧ください。

●用途に合わせて…

- 音楽CDを作ったり、CD-ROMを複製したい場合は、**B's Recorder GOLD for Windows** をご使用ください。
- [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]上から、フロッピーディスクのように、ファイルを書き込みたい場合は **B's CLiP** をご使用ください。

●インストールする

1 他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

2 「オリジナルCD作成キット」CD-ROMをセットします。

3 自動でメニューが表示されますので、

・「**B's Recorder GOLD for Windows**」の場合⇒
「**B's Recorder GOLD for Windows**」のボタン

・「**B's CLiP**」の場合⇒「**B's CLiP**」のボタン

をクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの“autorun”を起動してください。

4 あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中にシリアルナンバーを要求されたら、添付の「B's Recorder GOLDユーザー登録ハガキ」に印字されているシリアル番号（本製品のシリアルNo.とは異なります。）を入力してください。

注意

《削除（アンインストール）方法》
各ソフトウェアを使用しなくなった場合は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]で削除（アンインストール）を行ってください。

●起動する

・「**B's Recorder GOLD for Windows**」は、[スタート]→[プログラム]→[B's Recorder GOLD]→[B's Recorder GOLD]をクリックすると起動します。
・「**B's CLiP**」は、Windowsが起動したときに、自動的に常駐します。

●書き込む

以下の【●注意事項】をご覧の上、本製品添付の「B's Recorder GOLD + B's CLiP クイックガイド」やヘルプなどを参照し、書き込みを行ってください。

●注意事項

・省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

・マルチセッション(MULTISESSION：セッション単位でデータを追記すること)記録したCD-R/RWディスクの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD for Windows」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

・一度でも書き込みに失敗したCD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
また、書き込みに失敗したCD-RWディスクは「B's Recorder GOLD for Windows」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。

・いったん、「B's Recorder GOLD for Windows」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD for Windows」と本製品を使用してください。
また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
（一度、B's CLiPで使用したCD-RWディスクをB's Recorder GOLDで書き込む場合は、標準消去で完全に消去してください。）

・ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、CD-Rディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

・本製品からオーディオキャプチャを行う際にノイズが発生する場合は、読み込み速度を落としてください。

・JustLinkのチェックを外さないでください。

《B's Recorder GOLDの場合》

「環境設定」→「高度なドライブ設定」で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。

《B's CLiPの場合》

①タスクトレイのB's CLiPアイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。

②[B's CLiP Page設定]タブをクリックします。

③[JustLink機能]の[転送速度エラーを回避する。]にチェックをつけます。

④[OK]ボタンをクリックします。

・CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意

B's Recorder GOLDが対応していないCD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。

その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。

※弊社CD-ROMドライブの場合は、弊社ホームページにてご確認ください。

他社CD-ROMドライブの場合は、㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

・音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。

・[HDDバックアップ機能について]

バックアップしたディスクを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なCD-ROMドライブが必要です。

・USB 1.1で、音楽CD、ビデオCD、ミックスモード、CD Extraの書き込みを行う場合は、書き込み速度を４倍速以下にしてください。また、書き込むデータをいったんイメージファイルとしてハードディスクに保存してから書き込んでください。

付録

必要に応じてお読みください。

インストールした ドライバの削除

インストールしたドライバを削除します。

32ページ

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

34ページ

仕様

本製品の仕様です。

44ページ

i･CONNECTについて

本製品のi･CONNECTを使うときにお読みください。

45ページ

インストールしたドライバの削除

Windows Me/98、Windows 2000で、本製品を再びインストールする場合は、インストールしたドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

1 パソコンの電源を切り、USBケーブルを抜きます。

2 Windowsを起動します。

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。

3 「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを挿入します。

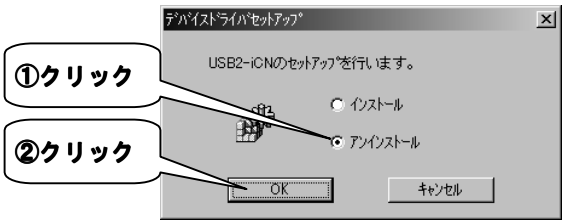
本製品以外のCD-ROMドライブに挿入してください。

4 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0CCサポートソフト]ボタンをクリックします。

自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」をダブルクリックしてください。

5 [アンインストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

→このあと自動で削除されます。



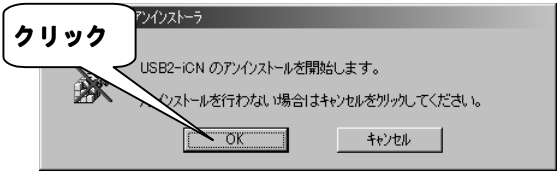
注意



左のような画面が表示されたときは、【困った時には】をご覧ください。

35ページ

6 [OK]ボタンをクリックします。



7 [OK]ボタンをクリックします。



8 挿入したディスクを抜きます。

9 [はい]ボタンをクリックします。



これで、ドライバは削除できました。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態 ⇒ 一般的なトラブル	参照ページ
インストール中や削除中にエラーが表示される	35
インストールする前につないでしまった	36
USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない	37
ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない	37
ディスクを挿入しても反応がない	37
CD-RWドライブの電源ランプが点灯しない	38
CD-RWドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない	38
ディスクが取り出せない	39
音が聞こえない	40
書き込みに失敗する	43
設定した書き込み速度より、書き込み時間が長くかかる	43

●一般的なトラブル

インストール中や削除中にエラーが表示される

原因	USB機器を接続している。
対処	USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルのインストールや削除はできません。下記の手順を行ってください。

1 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



USB接続のCD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブをお使いの場合

この方法では、作業できません。
次ページをご覧ください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

インストール中の場合は【インストール】(8ページ)の、
削除中の場合は【インストールしたドライバの削除】(32ページ)の
手順を行ってください。

ハードディスクにコピーしてインストールする

USB接続のCD-ROMをお使いの場合は、CD-ROM内の内容をハードディスクにコピーしてからインストールしてください。

①CD-ROMドライブに添付CD-ROMをセットします。

②デスクトップに［新しいフォルダ］フォルダを作ります。
デスクトップ上でを右クリックし、［新規作成］→［フォルダ］の順にクリックします。⇒［新しいフォルダ］フォルダを作成します。

③データを［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。
①でセットしたディスク内の［USB2CC］フォルダを、［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。
≪コピー例≫
1)［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
2)CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
3)［USB2CC］フォルダをクリックします。
※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックしてください。
4)メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
5)［新しいフォルダ］フォルダをダブルクリックします。
6)メニューから［編集］→［貼り付け］をクリックします。
⇒［USB2CC］フォルダがコピーされます。

④①でセットしたディスクを取り出します。

⑤パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。
本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

⑥［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。
［新しいフォルダ］→［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

インストールする前につないでしまった

原因	本製品をパソコンにつなぐ前に、インストールしていない。 （Windows Me/98、Windows 2000のみ）
対処	以下の手順にしたがってください。 ①パソコンから本製品を外します。 ②ドライバを削除します。☞ 32ページ ③インストールをします。☞ 8ページ ④本製品をUSBポートにつなぎます。☞ 10ページ

USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない

原因１	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、USBケーブルをUSBポートに接続してください。

原因２	USBポートによっては認識しない。
対処１	接続するポートを変えてください。
対処２	USBハブ接続している場合は、USBハブに接続せずに、パソコン本体のUSBポートに接続してください。

原因３	正しく認識されていない。（Windows Me/98、Windows 2000のみ）
対処	【確認】をご覧ください。 12ページ

ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない

原因	本製品がバスを占有している。
対処	この場合、すぐには認識されません。本製品の占有が終わってから、他のUSB機器をUSBポートに接続してください。

ディスクを挿入しても反応がない

原因	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、ディスクを使用することができます。

CD-RWドライブの電源ランプが点灯しない

原因１	CD-RWドライブの電源スイッチがONになっていない場合があります。
対処	CD-RWドライブの電源スイッチをONにしてください。
原因２	電源コード(ACアダプタ)が接続されていない場合があります。
対処	電源コード(ACアダプタ)がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。
原因３	電源連動機能が働いている。
対処	本製品をUSBケーブルで使用する場合、パソコンの電源に連動してCD-RWドライブの電源がON/OFFされます。 詳しくは、20ページのコラムをご覧ください。
原因４	CD-RWドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。 49ページ

CD-RWドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない

原因１	ディスクが確実に入っていないことがあります。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。
原因２	ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。
対処	各ケーブルの接続を確認してください。

ディスクが取り出せない

原因１	使用中のアプリケーションで取り出し禁止している場合があります。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。（B's CLiPが起動中の場合は、タスクトレイのB's CliPのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックしてください。）

原因２	トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。
対処	次ページを参照し、取り出してください。 **・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。** **・以下の操作は、CD-RWドライブおよびパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。** **・ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）** **・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。** 《必要なもの》 太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。 《取り外し方法》 ①強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。 ②トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイをかるく押し戻してください。

音が聞こえない

原因１	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。
原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。
原因３	音声データが入っていないディスクを入れている
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。



音楽CDの音声について

通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。
「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、次ページの方法で確認してください。デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、11ページのコラムをご覧ください。

●Windows XPの場合

①[スタート]→[マイコンピュータ]内の[システム情報を表示する]をクリックします。
②[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
③[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[NR-7900A]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
④[プロパティ]タブに[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
⑤チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

コラム

●Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして表示された[NR-7900A]をダブルクリックします。

③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 98の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。

②[音楽CD]タブをクリックします。

③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 2000の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックします。

③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[NR-7900A]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	40ページ以降をご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は原因４の対処をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Winodws Me/98）
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[x]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

原因７	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
対処	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

原因８	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
対処	プラグをしっかりと接続します。

原因９	ヘッドホンやスピーカーなどが故障している。
対処	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常か確認してください。

書き込みに失敗する

原因１	推奨CD-R/RWディスクを使用していない。
対処	6ページの推奨CD-R/RWディスクをご使用ください。

原因２	読み込み元に使用できないCD-ROMドライブを使用している。
対処	30ページの【CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意】をご覧ください。

原因３	JustLinkが機能していない。
対処	●B's Recorder GOLDの場合 「環境設定」→「高度なドライブ設定」で、 “転送速度エラー回避機能”をONにしてください。 ●B's CLiPの場合 ①タスクトレイのB's CLiPアイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。 ②[B's CLiP Page設定]タブをクリックします。 ③[JustLink機能]の[転送速度エラーを回避する。]にチェックをつけます。 ④[OK]ボタンをクリックします。

原因４	Windows Me/98で使用していて、「ハードディスクの電源を切る」がONになっている。
対処	①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[電源の管理]を起動します。 ②[ハードディスクの電源を切る]を[なし]にしてください。

設定した書き込み速度より、書き込み時間が長くかかる

原因	バッファアンダーランが発生している。（バッファアンダーランが頻繁に発生する環境では、JustLink技術によるエラー回避処理の回数が増えるため、書き込み時間が通常より長くなります。）
対処	書き込み速度を落としてください。

仕様

インターフェイス仕様	USB 2.0、i･CONNECT
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmディスクのみ対応） 設置角度：±5°以下
ディスクローディング方式	電動ディスクトレイ方式
データバッファサイズ	2MB
書き込み/ 読み出し速度	書き込み速度 ≪CD-R≫ 24/20(ZCLV) 16/8/4(CLV)倍速 ≪CD-RW≫10/4(CLV)倍速 読み出し速度 ≪CD-ROM≫ 40～17(CAV)倍速 ≪CD-RW≫ 22～17(CAV)倍速
バッファアンダーラン防止機能	JustLink搭載
平均アクセスタイム	98msec.
対応フォーマット	CD-ROM(Mode1)、CD-ROM XA(Mode2 Form1,Mode2 Form2)、 CD-DA（Audio CD）、Photo CD、CD Extra、CD-I、 Video CD、CD-TEXT
書き込み方法	Track at Once、Disc at Once、Multisession、 Packet Write、Session at Once
アナログライン出力	0.75Vrms±3.0db
ヘッドホン出力	0.70Vrms±3.0db
電源仕様	AC 100V 50/60Hz
定格電力	13.0W
動作温度	+5℃～35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲(%)	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	162.0(W)×240.0(D)×48.0(H)mm（突起物を除く）
質量	約1.5Kg（ACアダプタ除く）

i・CONNECTについて

●i・CONNECTとは？

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

「i・CONNECT」搭載ドライブは別売のi・CONNECTオプションにより、「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」接続または、「PCカード」接続ドライブとしても使用できます。

●i・CONNECT対応オプションの動作環境

弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）にて最新情報を掲載しています。

●i・CONNECT対応オプションのセットアップ

「i・CONNECT対応オプション」の取扱説明書をご覧ください。

●i・CONNECT対応オプション使用時のご注意

・「別売のi・CONNECT対応オプション」と「添付のUSBケーブル」を同時につなげないでください。故障の原因になります。

・別売のi・CONNECT対応オプションを使用して本製品をパソコンに接続した場合、電源連動機能は使用できません。
（電源連動機能については、18ページのコラムをご覧ください。）

お問い合わせ先

B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP

「B's Recorder GOLD for Windows」,「B's CLiP」に関するお問い合わせ

●お問い合わせ先

株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター

TEL　06-4861-8234

受付時間　10:00～17:00　月～金曜日

（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

FAX　06-6378-3336

インターネット　http://www.bha.co.jp/support/index.html

注意

「㈱ビー・エイチ・エー製 B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」のサポート、バージョンアップサービスは弊社では行っておりません。
バージョンアップをご希望される場合は添付の「B's Recorder GOLD for Windows 用ユーザー登録カード」にてユーザー登録を行った後、㈱ビー・エイチ・エーにご確認ください。

㈱ビー・エイチ・エーユーザー登録（B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP用）

㈱ビー・エイチ・エー用「ユーザー登録カード」に必要な事項をご記入の上、㈱ビー・エイチ・エーまでご返送ください。

CD-RWドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CDRW-iU24J」係　宛

電話・FAX

電話番号	**本社　076-260-3688　東京　03-3254-1095**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

サポートライブラリ　　**http://www.iodata.jp/lib/**

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「CDRW-iU24J」　サービス窓口　宛
電話番号　　076-260-3663
受付時間　　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

CDRW-iU24J 取扱説明書
2001.Oct.30 100864-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。


「B's Recorder GOLD for Windows」,「B's CLiP」
に関するお問い合わせ
●お問い合わせ先
株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター
TEL　06-4861-8234
受付時間　10:00～17:00　月～金曜日
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)
FAX　06-6378-3336
インターネット http://www.bha.co.jp/support/index.html